

# 原則 基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する

## もれのないニーズの把握

→アンケート調査の実施(訪問調査、留置郵送調査)



- 第一段階:対象エリアにおいて、高齢者ひとり暮らし、高齢者世帯への調査を実施
- その後、段階を踏んで、対象者を拡充予定  
(調査の過程でニーズが把握された場合は、対象者を限定せず対応)

## 把握したニーズの効果的な活用

→データベースによる情報共有

- 個人の状況、ニーズ等をデータベース化し一元管理・情報共有

→定期的な訪問等によるデータ更新

- 見守り活動、サービス提供等を通じて得られた情報を更新

→ニーズに基づくサービス提供

- サービスのマネジメント
- サービスの提供



→ニーズ分析によるサービス等の開発

- ニーズ等の分析による新たなサービスの開発

# 原則 基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる

## ゾーンの設定 (品川第2地区:人口28,423人)

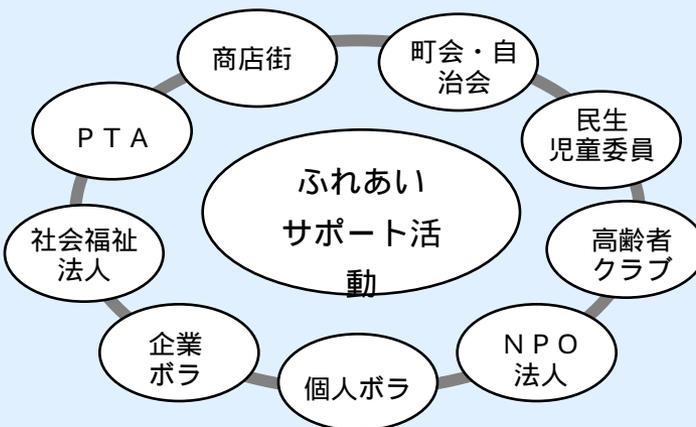
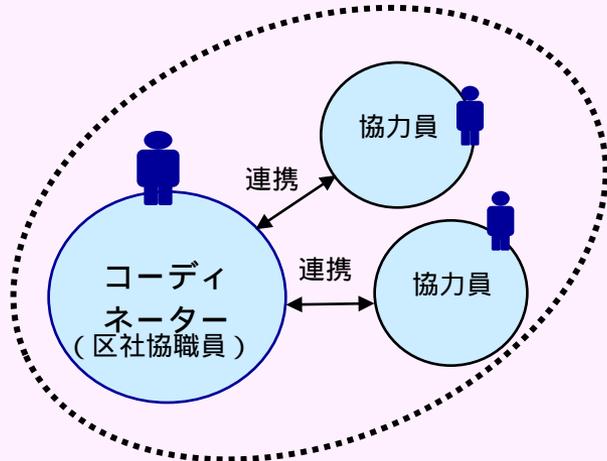
→様々な地域特性をもつエリアを選択



宿場町の面影を残す地域、昔ながらの路地の多い地域、高層マンションなど新規住民の多い地域など様々な地域特性を持つエリアを選定 →地域特性に応じたマネジメントの検証

## エリアを担当するコーディネーターと協力員を配置

→専任配置による総合的支援



→ふれあいサポート活動等との連携

関係機関・関係者との連携強化

## 原則 それを支える安定的な地域の自主財源の確保に取り組む

### 「第4のポケット」を充実

#### →利用料、賛助会員収入

利用料収入

賛助会員の募集、賛助会費収入

#### →寄付金収入

一般寄付

共同募金(見直し等も含む)

### 寄付金の効果的な集め方・納め方

#### 集め方

- 歳末たすけあい募金については、今後地区配分委員会を設立するなどして、当該地区から集めたものは当該地区の事業に充てるなどの仕組みを構築する。
- 社会福祉協議会への会費の一部を充てる仕組みを作っていく。

#### 納め方

- 募金、会費については、一旦社会福祉協議会に指定寄付扱いで受領し、当該ファンドに繰り入れる。
- その他の寄付については、直接ファンドで収納する。